

【NEWS RELEASE】

2022年4月28日

各位

株式会社三井住友銀行

デリカフーズホールディングス株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、デリカフーズホールディングス株式会社（代表取締役社長：大崎 善保）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、デリカフーズホールディングス株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 国産野菜の調達・供給・加工、野菜の消費拡大を通じた農業振興と消費者の健康促進、フードロスの削減

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体のひとりあたりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失等の生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。
目標 2 飢餓を ゼロに	2.3 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場および高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保等を通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民および漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性および所得を倍増させる。
目標 3 すべての人に 健康と福祉を	3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健および福祉を促進する。

- ② 工場における省エネの取組や太陽光発電による環境負荷軽減、気候変動への適応力強化

目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
目標 13 気候変動に 具体的な対策を	13.1 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）および適応の能力を強化する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献してまいります。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。